



令和元年度 No. 6

駒岡小学校だより

10月号

外国語活動？ 外国語科？

校長 中山 正之

朝夕に、少しずつ涼しさが感じられるようになりました。学校では運動会に向けた練習や取組がスタートしました。これから運動会当日までの約3週間、子ども達が練習を重ねていく姿が校庭で見られます。暑さや体調に注意しながら、楽しく、真剣に取り組んでほしいと思います。

さて、来年度から新学習指導要領が全面実施されます。子ども達の「生きる力」を育むための、この先約10年間の教育課程の基準となるものです。すでにその内容をご存知の方も多いと思いますが、今回の改訂で大きな特徴といえば、「道徳」と「外国語教育（英語）」の教科化ではないでしょうか。このうち道徳はこれまでと同様に全学年で週1時間の授業を行い、指導内容や評価はすでに本校でも新しいものが実施されています。一方、外国語教育は少し事情が違ってきます。

まず、新学習指導要領では、2020年度より「外国語活動」を3,4年生（中学年）で行い、「外国語科」を5,6年生（高学年）で行うとなっています。中学年が活動型、高学年が教科型となるため、目標がやや違ってきます。また、内容も中学年の「聞くこと」「話すこと」の言語活動が主となるのに対し、高学年ではその二つに「読むこと」「書くこと」の言語活動が加わります。さらに、授業の時間数は、中学年が週1時間（年35時間）、高学年が週2時間（年70時間）程度になる予定です。そして、高学年には教科書が配付されます。

一方、横浜市ではこの10年来、「外国語活動（YICA）」という名前で、英語の学習活動に取り組んできています。全市の小学校で、全学年が担任やAET（アシスタント・イングリッシュ・ティーチャー）、IUI（国際理解教室講師）と英語に慣れ親しむことを目的とした学習を行っています。現行の授業時間数は個別級、1～4年生が年間約20時間、5,6年生が約50時間です。

この現行の指導形態を踏まえて、先に述べた「外国語活動」「外国語科」が導入されますので、来年度から横浜市の小学校では、個別級、低学年（1,2年生）年間20時間、中学年35時間、高学年70時間の授業が実施されることとなります。また、来年度も外国人講師は派遣される予定と聞いています。ただ、講師がすべての学年の授業に参加できるわけではありませんので、担任の先生が単独で授業を行う時間も出てきます。本校ではこれに備えて、昨年度より「道徳」と「外国語活動」「外国語科」の授業研究に取り組み、すでに多くの先生が、新しい内容の道徳の授業や、担任だけで行う外国語活動（外国語科）の授業の進め方を学びつつあります。

少し込み入った内容になってしまいましたが、来年度の外国語活動と外国語科の指導の見通しについてご紹介しました。新しい学習が始まることは私達にとって不安もありますが、楽しみでもあります。子ども達が楽しく、真剣に学べる授業をこれからも目指したいと思っています。

